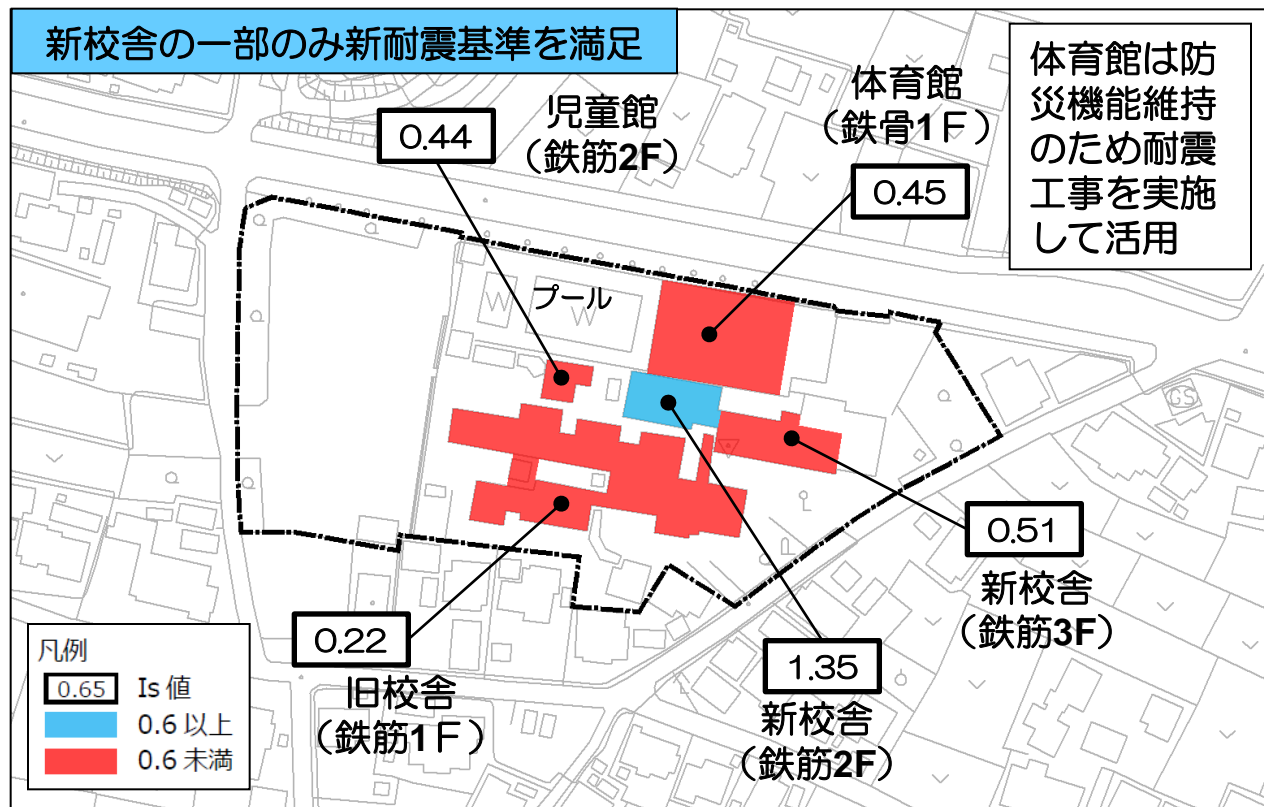


■ 小文間小学校跡地の現状

- 校庭や体育館は、現在でも地域の避難場所としての機能を有していますが、現在の校舎は昭和38年～平成8年に建てられたもので、その多くが現行の耐震基準を満たしておらず、解体・補強・補修活用の方向性を判断する必要があります。



▲ 耐震診断結果

参考： 現在の利用状況

- 体育館は市民団体に開放され、利用されています。
- 校庭は、市民団体や盆踊りなどの地域イベントに利用されています。

■. 市民からの陳情・意向調査・要望書の概要

- ・歴史的には、明治6年に西光院内に創立、明治37年に現在地に移転した、**市内でも特に古くからある小学校**で、廃校となることが決まった際にも、陳情が提出され、その後も地域団体によって利活用に係るアンケートや要望も行われています。

地域意向	意見の概要
小中学校適正配置基本計画策定時に 議会採択された陳情内容 【陳情第29号 平成24年12月12日採択】	・営利組織、団体等へ売却しないこと ・将来的に学校への転用を可能とする行政による維持管理
地元団体：小文間活性研究会による住民 意向調査(15票) 【平成27年11月～平成28年1月末実施】	Q: 旧小文間小学校の土地利用方法、小文間地域の 活性化 A: 地域コミュニティ施設、郷土資料館、公園、高齢者 施設、道の駅等として再整備を望む意見 A: 防災機能の維持を望む意見
地元団体：小文間物語の会による要望書 【平成28年3月14日付提出】	1. 旧校舎は極力そのまま使う 2. 地域振興施設の整備・運営 3. 駐車場を広くとる 4. グラウンド、体育館を残す 5. NPO法人による管理運営